

今日は公立高校の学力検査日（一般入試日）です。

3月12日（水）

今日は公立高校学力検査（一般入試）です。ここ数年、公立高校の入試日は3月12日、合格発表が3月19日と決められています。学力検査は、国語、数学、社会、理科、英語の順に実施され、各教科共に50分間の検査となっています。問題は全県共通で、英語は聞き取り問題もあります。明日の朝刊各紙に問題が掲載されていますので、3年生は答え合わせを、1・2年生はすでに習った単元も多く出題されているので、問題に挑戦してみましょう。2年生は来年の入試までちょうど1年となります。毎日3時間家庭学習に取り組んだとしても、総学習時間は1100時間ほどです。1100時間は日に換算すると45日余りです。昔から「受験勉強は部活動を引退してから・・・」と言う生徒に限って、部活動を退いた後も学習に打ち込めない生徒が多いです。始業式でも話しましたが今の時期、2年生は「3年生の0学期」、1年生は「2年生の0学期」ということとなります。「0学期」の過ごし方が4月のスタートを左右するといっても過言ではありません。2022年度以降、高校では科目再編により、選択科目に「古典探究」「世界史探究」「理数探究」など、「探究」のつく科目が多く導入されます。これに先立ち、「探究」系の学習をカリキュラムに入れ込む高校も増えています。その背景として、大学入試改革があります。今後は、国立大学でもAO入試や推薦入試の比重をさらに増やし、高校時代に取り組んだ課題研究や課外活動の内容も積極的に評価していく方針が明らかになっています。大学志願者が、課題研究等の活動内容を自分で書き込む **eポートフォリオ**※の研究も進んでいます。つまり、自分なりの問題意識をもって思考力・判断力・表現力を深めていくことが求められており、そのことが希望の大学進学にもつながるわけです。この流れを受けて、高校入試も変わってきています。公立高校の国語や英語の入試でも、文章を読ませ、それをふまえて自分の考えを書かせるといった記述問題を出題するところが増えてきました。このような問題は、機械的な暗記やテクニックでは歯が立ちません。また、「自分の考えを書く」ためには、まず出題されている文章の趣旨を読み取り、それをふまえて考える必要があります。考えたことを人に伝わるように書くには慣れが必要ですし、英語の場合、さらに英作文の訓練が必要となってきます。今後は「読む」「考える」「書く」作業に慣れることが、益々大切になってくると考えられます。



※eポートフォリオとは…レポートや授業のメモ、プリント、教師や同僚のコメント、サークルや課外活動など、学生の「学び」に関わるあらゆる記録をデジタル化して残すシステムのことです。学習や活動の記録を「見える化」することで、学生が自分自身を振り返って客観的に見つめ直すことができやすくなります。意識していなかった新たな気づきが得られたり、抱えている問題点が明確になったりする教育効果があるとされています。